



豊中市更生保護 サポートセンターだより

Saposen Toyonaka

第7号

平成25年3月

豊中市中桜塚2丁目29番31号 豊中市立母子福祉センター2F／電話・FAX：(06)6852-5205／e-mail:saposentoyonaka@citrus.ocn.ne.jp

サポセン豊中の取り組み－平成25年度に向けて－

「サポセン豊中に期待します」

大阪保護観察所所長 西村 穣

平成24年度に大阪で最初に設立された豊中市更生保護サポートセンターも早や2年目を終わろうとしています。この間、更生保護活動の拠点として、地域の中でなくてはならない重要施設として大きく成長されました。また、大阪府内のサポセンのけん引役として、後続の10センターの設立にも大きく貢献していただきました。あらためて感謝申しあげます。

近年、地域家庭の絆の希薄化が進む中、犯罪予防と立ち直りの促進は、地域の協力なくしては進めることができます。一部の関係者がご苦労される時代から、市民協働の時代に移ろうとしています。サポセンは、地域に発信し地域に出て行く基地としてその重要性を増しています。創成期にあるサポセン豊中のご苦労は並大抵ではないと思いますが、将来、住民の方々からサポセンがあつて良かったと喜ばれる日は間違いなく来ます。地域に開かれたサポセンとしてさらに飛躍されますことをご期待申しあげます。

●サポセン豊中懇談会の報告

サポセン豊中では、1月から2月にかけて地区保護司を対象とした懇談会を開催しました。

これは当センターの問題点や今後の活用方法を皆で考えて、より身近で役立つ施設になることを目的としたものです。

今回は初の試みとして全会員を11グループに分けた少人数での話し合いを持ちましたが、各日ともに活発な意見交換が行われ、更生保護活動における様々な立場やニーズ、悩み事などを知る良い機会になりました。

述べられた主な意見は以下のとおりです。

サポセン豊中懇談会に参加して（保護司の声）

- ・サポセン豊中の場所や活動内容をほとんどの人が知っていた。
- ・サポートセンターがあつてよかった。今後も委員会に使いたい。
- ・相談窓口・地域との連携などは今後も広めていく方がよい。
- ・市民などを対象にして、もっとサポセンの宣伝をする方がよい。
- ・面接室利用については距離的・時間的に問題もあるが、何かの時に安心出来て有り難い。
- ・保護観察の事例（覚せい剤・交通・うつなど）に分けた勉強会を開催し、経験豊かな保護司から話を聞きたい。
- ・保護司や更生保護関係団体が定期的に情報交換する場として活用したい。
- ・新人保護司のサポートに活用してほしい。具体的な報告書の書き方や対象者の情報保管の是非など、わからない事がたくさんある。また、「保護司に向いていない」「どうしていいか分からない」「辞めたい」という気持ちにならないように支えあっていくことが大切だと思う。
- ・保護司の悩みは保護司同士でしか話せないので、経験の浅い保護司はざっくばらんに話ができる、こういう懇談会を望んでいる。
- ・保護司が気軽に立ち寄れる場・定期的に情報交換する場としてほしい。
- ・サポセン企画調整保護司の駐在予定表を配布してほしい。

企画調整保護司より

保護司の皆さんには懇談会にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。

おかげさまで、豊中地区保護司会員96名中68名(71%)に参加していただき、盛況のうちに終えることができました。

今後は懇談会でいただいたご意見を参考にして、勉強会を開催いたします。

平成25年度も「役に立つサポセン」を目指して頑張りますので、保護司・更生保護関係団体、非行や犯罪でお困りの方など、一人でも多くの皆さんにご利用いただきますようお願い申しあげます。

※豊中市更生保護サポートセンターは「保護観察処遇活動の支援・新任保護司に対する相談」「地域住民からの犯罪・非行に関する相談の窓口」「地域における関係機関、団体に情報を提供し、連携を図る」等の活動をしています。

非行や犯罪のことで悩んでいる方はサポートセンターにご相談ください。

電話での相談にも応じています。《06-6852-5205》

◆駐在時間／平日 午前10時～午後4時

◆閉館日／土・日・祝祭日

平成24年10月～平成25年2月のサポセン利用状況

- 来訪者数…299人
- 相談件数…10件
(延べ人数 保護司含む)